



## 社会課題解決に向け政策共創

### E A J、政治家と科学者による対話の会

産学官の指導的技術者の団体である日本工学アカデミー（E A J、安西祐一郎会長）は6月16日、都内の衆議院第

一議員会館で「政治家と科学者の対話の会」を開催した。

会にはアカデミー会員のほか、国会議員の新妻秀規参院議員（公明党）、赤松健参院議員（文部科学大臣政務官、自民党）、大串正樹衆院議員（経産産業副大臣、自民党）、浅野哲衆院議員（国民民主党）の4名が参加した。

### 対話の会冒頭あいさつする新妻参院議員

E A J政策共創推進委員会主催による「対話の会」では、これまで10回にわたり政治家と科学者が意見交換を重ねてきた。11回目となる今回は、E A J側からの話題提供として、岸本喜久雄E A J副会長、養王田正文東京農工大学特任教授、関谷毅大阪大学先導的学際研究機構教授の3氏から

「共創の場形成支援プログラム（COI-INEXT）」に関する事例紹介が行われた。

会の冒頭、新妻氏があいさつし、「気候変動、感染症、食糧安全保障など、政治の側で求められる課題の解決も、アカデミアの方々の知恵がなくては解決できない。こうした対話の機会が政治家にとっても、解決策を見出ししていく必須条件となってくる」と述べた。また、意見交換の後、大串氏は「貴重な話を聞くことができた。本当に身近なところで技術が生かされている。我々政治家側でもやるべきことがたくさんあり、気付きも得られた。今後も、皆さまから問題提起をさせていただきながら、発展的なコミュニケーションができればいい」などと語った。